



キンメダイ

太平洋系群

主な漁業と漁期

成魚 底立てはえ縄: 周年
立縄: 周年

生態

キンメダイは世界中の熱帯から温帯域の水深200～800m前後の海山や陸棚縁辺部に分布しています。太平洋沿岸では重要な漁獲対象資源として利用されています。このうち関東沿岸から伊豆諸島周辺海域は我が国最大のキンメダイ漁場となっています。

●回遊

標識放流の結果から伊豆東岸沖のキンメダイの多くは、その海域に滞留していることが分かりました。しかし、一部のキンメダイは、伊豆諸島南部海域、高知県沖、南西諸島まで広く移動することが確認されています。

●産卵期・産卵場

産卵期: 相模湾から伊豆諸島周辺海域で6～10月で、最盛期は7～8月とされています。

産卵場: 房総半島沖から四国沖また小笠原海域の大型のキンメダイが分布する海域が産卵場です。



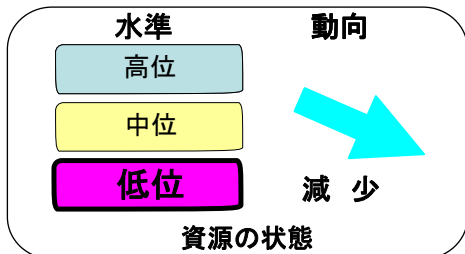
図 主なキンメダイの漁場

●成長

耳石の年齢査定による最高年齢は26歳なので寿命は20年以上あります。伊豆諸島周辺海域では4～5歳、尾又長31.8cmで産卵を開始すると推定されています。5歳で尾又長30cm体重1.7kg、10歳で39cm、1.2～1.5kgまで成長します。

漁業・資源動向

【資源】



- 1 関東沿岸から伊豆諸島周辺海域における2016年の資源量は23.5千トンと推定されており、資源水準は低位、動向は減少と判断されています。
- 2 2016年の静岡県内の漁獲物の体長組成(尾又長)は立縄で32～33cm、底立てはえ縄で34～36cmの割合が高めでした。
- 3 東京湾口部で小型魚の加入が継続していますが、近年は卓越年級群の発生はないと判断されています。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

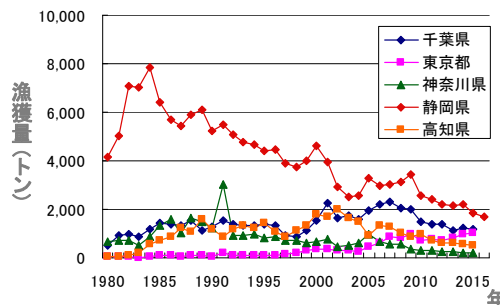
<http://abchan.fra.go.jp/digests28/html/2834.html>

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests28/details/2834.pdf>

【漁業】

- 1 キンメダイの主な水揚げ港を有する千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、高知県の漁獲動向は2005年から2009年まで7千トン台で安定していましたが、その後減少傾向で2015年は4,764トンでした。
- 2 県内の漁獲量は1984年にピークを示した後、漸減傾向にあります。2005年からは3,000トン程度で比較的安定していましたが、2010年には2,500トンとなり、減少傾向を示し2016年は1,687トンとなりました。
- 3 静岡県では、漁業者による自主的な資源管理(小型魚の保護、漁具の制限など)を行っています。



千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、高知県のキンメダイ水揚げ量の推移

担当者の一言: 何と言っても甘辛い煮付けが最高。白いご飯が何杯でも。

問合先

静岡県水産技術研究所伊豆分場 0558-22-0835